

< 環濠都市界の再生事業 >

【目的】

環濠エリアにおいて

- ・ 歴史・文化の継承と共に、新たな魅力の創出
- ・ 生活する人も訪れる人も愛着が持てるまちの実現
- ・ 活気ある堺を取り戻す

【課題】

- ・ 周遊ルートや歩道の整備が不十分
- ・ 歴史的な資源は点在しているが、住民自身の関心が低い
- ・ 堺の面白いところを広く伝えるための発信力に欠ける
- ・ イベントや事業がエリア全体の盛り上がりには至っていない
- ・ 現在のニーズに合った環濠再生のあり方の検討が必要

【手法】

- ・ 民間のアイデアや行動力を公共がバックアップする公民連携のまちづくり
- ・ 事業推進に当たってプラットフォームの構築

【リーディングプロジェクト】

- ① 回遊性の向上：案内ツールの充実、遊歩道等の連続性確保、賑わいづくり
- ② 情報発信力の強化：地域資源のデータベース化、情報サイトの構築
- ③ モデル地区の設定：水辺を活かした飲食店等の誘致、景観の統一



H31 年度

Can Go
『環濠堺!』

みんなに知ってもらい → 来てもらい → 好きになってもらう

◆ 庁内連携事業

- ① 水辺賑わい誘導モデル事業

連携

◆ 環濠茶論(※) 事業

- ② 情報発信事業

認知度向上

賑わいの創出



シビックプライド醸成

交流人口・定住人口の増加

◆ 庁内連携事業

① 水辺賑わい誘導モデル事業

- ・ 環濠エリアの水辺を活用した集客効果の高い店舗等の設置により、賑わいを創出し、環濠エリア全体の活性化に波及させる。
- ・ そのためのモデルとなる事業を実施し、将来的には事業を拡大し、「さかい利晶の杜」や「百舌鳥古市古墳群」等とも連携した賑わいを波及させる。

整備イメージ（北浜テラス、水辺のオープンカフェ）



◆ 環濠茶論事業

② 情報発信事業

- ・ SNSを活用した写真を中心とした情報発信
- ・ 飲食店や歴史文化資源等を巡るウォークラリー等の開催
- ・ モデルコースの設定



※ 環濠茶論

- ・ 堺環濠町づくり推進協議会（通称：環濠茶論）
- ・ 地元の活動団体、堺観光コンベンション協会、堺市で構成
- ・ 堺環濠エリアにおいて、歴史文化の継承とともに新たな魅力を創出し、生活する人も訪れる人も愛着が持てる活気ある堺の実現に向けた公民連携による取り組みを推進することを目的に設立

水辺賑わい誘導モデル事業

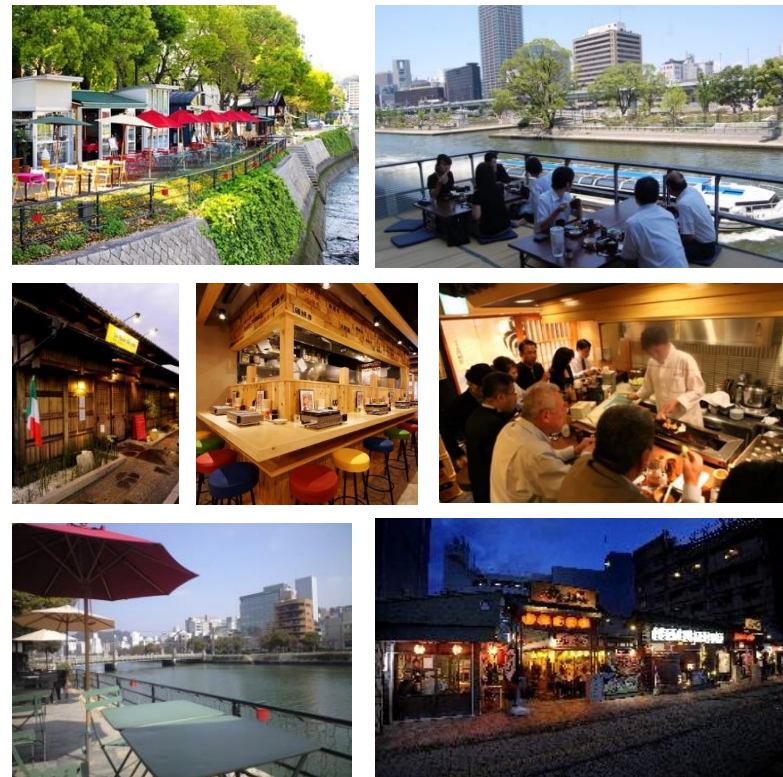
<事業目的>

- 歴史・文化資源等に恵まれた堺環濠エリアにおいて、都市魅力の向上や賑わいの創出により、市民が「愛着」や「誇り」を実感できるまちづくりを進め、交流人口や定住人口の増加をめざす。
- 環濠エリアの水辺を活用した集客効果の高い店舗等の設置により、賑わいを創出し、環濠エリア全体の活性化に波及させる。

<事業イメージ>

- 環濠エリアの水辺を活用し、下記の機能を備えた施設を官民連携によるモデル事業として整備し、賑わいを創出
 - ①賑わい創出機能：集客効果の高い店舗等
 - ②チャレンジショップ機能：期間を限定した企業・開業の支援、支援後は、環濠エリア内の空家を活用した独立開業に誘導
 - ③広場機能：多目的に活用できる水辺のオープンスペース
- 「さかい利晶の杜」や「百舌鳥古市古墳群」等とも連携し、賑わいを波及

(整備イメージ)



<H30年度事業>

- ・水辺の賑わい誘導モデル事業計画の作成



<H31年度事業>

- ・インフラ等の設計
- ・事業者の募集準備



<H32年度>

- ・インフラ等の施工
- ・事業者の募集
- ・建物等の設置



<H33年度以降>

- ・運営支援 → 将来的には自立
- ・環濠エリアの活性化
- ・市域全体への波及
- ・「交流人口」「定住人口」増加